

## (1)施設規模設定等の基礎資料

- 新花巻図書館整備基本計画試案における施設規模については、花巻中央図書館基本計画を基礎としているが、今回の試案作成にあたっては、日本図書館協会図書館雑誌掲載統計「数字で見る日本の図書館－貸出密度上位の公立図書館整備状況 2 0 1 8」に記載されたデータにより床面積を想定したもの。
- 「数字で見る日本の図書館－貸出密度上位の公立図書館整備状況 2 0 1 8」は、各人口段階の住民一人当たりの貸出資料数上位 1 0 %自治体の平均数値をまとめたもの。

項目	人口段階（～8万人）	人口段階（～10万人）	計画案値
①図書館占有延床面積（㎡）	4,096.6㎡	5,074.3㎡	4,500㎡程度
②蔵書冊数（冊）	382,926.2冊	484,513.9冊	500,000冊程度

※数字で見る日本の図書館－貸出密度上位の公立図書館整備状況 2 0 1 8 より抜粋

※①住民一人当たりの貸出資料数上位 1 0 %自治体の図書館延床面積合計の平均

②現花巻図書館の蔵書数は、1 9 6, 8 4 3 冊であるが、計画案値としては、新花巻図書館が中央館としての役割を担うことを加味し、市全体を想定。

## (2)数値設定の考え方

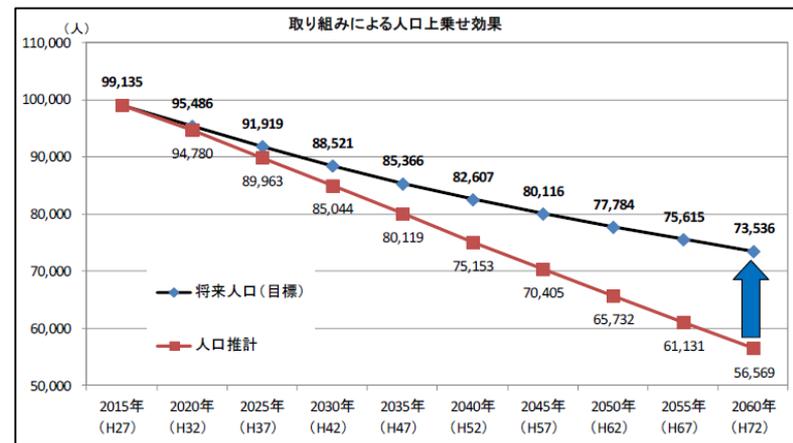
### ①図書館占有延床面積

平成 2 7 年 1 0 月に制定した花巻市人口ビジョンの将来人口の目標値設定では、まちひとしごと総合戦略による施策を実施し、成果としての将来の人口を 2 0 3 0 年を 8 8, 5 2 1 人、2 0 4 0 年を 8 2, 6 0 7 人としており、施設規模については、8 万～1 0 万人の占有面積の平均である 4, 5 8 5 ㎡を目安として設定したもの。

### ②蔵書スペース

蔵書は、今後、蔵書計画を策定するが、新花巻図書館を整備した場合、中央館としての機能も有することから、目安として 5 0 万冊程度の収容スペースを確保。

また、今後、電子書籍活用の広がりも見込まれることから、その普及状況を見ながら、柔軟に対応する。



住民基本台帳ベースの将来人口  
花巻市人口ビジョン 2 0 1 5. 1 0 月より抜粋